

讃美歌 270
信仰告白 ウェストミンスター信仰告白 33:2、14:2、23:2
聖書 申命記7章 (p292)
祈祷 奨励 「約束の地と聖なる戦争」
祈祷
讃美歌 531
懇談
祈祷会
主の祈り

ウェストミンスター信仰告白 第33章 最後の裁きについて

2. 神がこの目を定められた目的は、選びの民の永遠の救いによって、自らの憐れみの栄光を表し、また、悪く不従順な失格者の裁きによって、自らの義の栄光を表すためである。なぜなら、そのとき義人は、永遠の命に入り、主の御前から来る満ちあふれる喜びと力づけを受けるが、悪人は、神を知らず、イエス・キリストの福音に従わないので、永遠の苦しみに投げ込まれ、主の御前と、主の力の栄光から永遠に絶たれることによって罰せられるからである。

ウェストミンスター信仰告白 第14章 救いに導く信仰について

2. この信仰によって、キリスト者は、御言葉において啓示されていることは何事であれすべて真実であると、御言葉において語っておられる神御自身の權威のゆえに信じ、御言葉のそれぞれの箇所が含んでいることに応じて、さまざまに行為する。すなわち、命令には従順に従い、威嚇にはおののき、この世と来るべき世についての神の約束はしっかりと受け止める。しかし、救いに導く信仰の主な行為は、恵みの契約のゆえに、義認と聖化と永遠の命を得るため、ただキリストのみを認め、受け入れ、依り頼むことである。

ウェストミンスター信仰告白 第23章 国家的為政者について

2. キリスト者が為政者の職務に召されるとき、それを受け入れて遂行することは、合法的である。職務の執行にあたって、かれらは、それぞれの国の健全な法律にのっとり、特に敬神と正義、平和の維持に努めるべきである。それで、その目的のために為政者は、正当で必要な場合には、新約のもとにある今でも、合法的に戦争を行うことができる。